東京市銀座民友社　徳富蘇峰先生　盧聖錫氏[[1]](#footnote-1)　袖呈　／京城府孝子町一七五　香山光郎

蘇峰先生

春雨昨日より降續候。これにて麥も苗代も心配なき由に御座候。先日は鵲巢居の詩碑除幕式に来前、先生を偲申上候。鵲新留痕擎讀載転深きを覚え申上候。

盧聖錫君、御紹介申上候。君は朝鮮にて最有力なる出版業者にて志も實力も東京の岩波に比すべき仁に御座候。今般上京、先生に拜眉謦咳に接し奉らんとの念願の由、後生に紹介を乞候まま御紹介申上候。君は京城帝大文学部出身にて出版報國の志堅く、信頼嘱望すべき青年にて、殊に後生に對しては力強き後援者に御座候。新時勢に對應する雑誌発行の計劃も有之[[2]](#footnote-2)、朝鮮に於ける文化向上の有力なる事業家と確信仕候。何卒御引見御激励を賜はり度、懇願仕候。御加餐奉願候　早々敬具

昭和十五年五月三十一日　香山光郎

1. 盧聖錫（1914-1946）博文書館の創始者盧益亨（1884-1940）の息子。1938年に京城帝大を卒業してすぐ書店経営に携わった。 [↑](#footnote-ref-1)
2. 1941年1月創刊の『新時代』のことか？ [↑](#footnote-ref-2)